

C. 未就労者の意識等

1. 就労意識等について

(1) 未就労の理由

6-(1)あなたが働いていない一番の理由は何ですか。【1つに○】

未就労の理由については、「年齢的に就業が難しい」が23.6%と最も高く、次いで「働く必要がない」が14.7%、「病気等で働けない」が11.4%となった。

なお、「その他」が18.3%となった。「その他」の主な内訳は、「学生のため」が半数を超えたほか、「就職活動中」「健康上の理由（病気など）」「育児（孫の面倒をみている、子どもの預け先がない、両立できる仕事がない等）」が複数見受けられた。

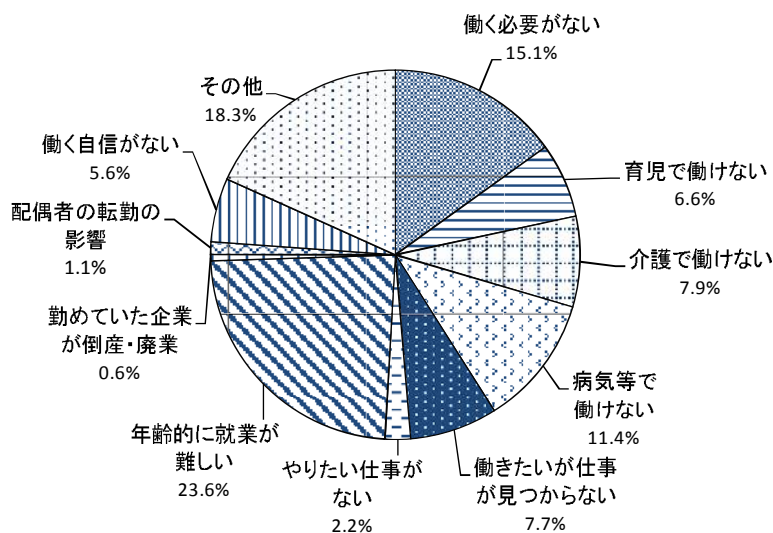
性別でみると、＜女性＞では「育児で働けない」が9.9%を占めている。

性別・年代別でみると、＜男性＞では＜30～34歳＞で「働く自信がない」が選択されている。55歳以上で年代が上がるほど「年齢的に就業が難しい」の割合が高くなっており、50歳代、60歳代では「働きたいが仕事が見つからない」が1割を超えている。

＜女性＞では20歳以上から45歳未満の年代で「育児で働けない」の割合が高く、＜40～44歳＞では「働きたいが仕事が見つからない」の割合が高くなっている。また、50歳以上で年代が上がるほど「年齢的に就業が難しい」の割合が高くなっている。

■未就労の理由

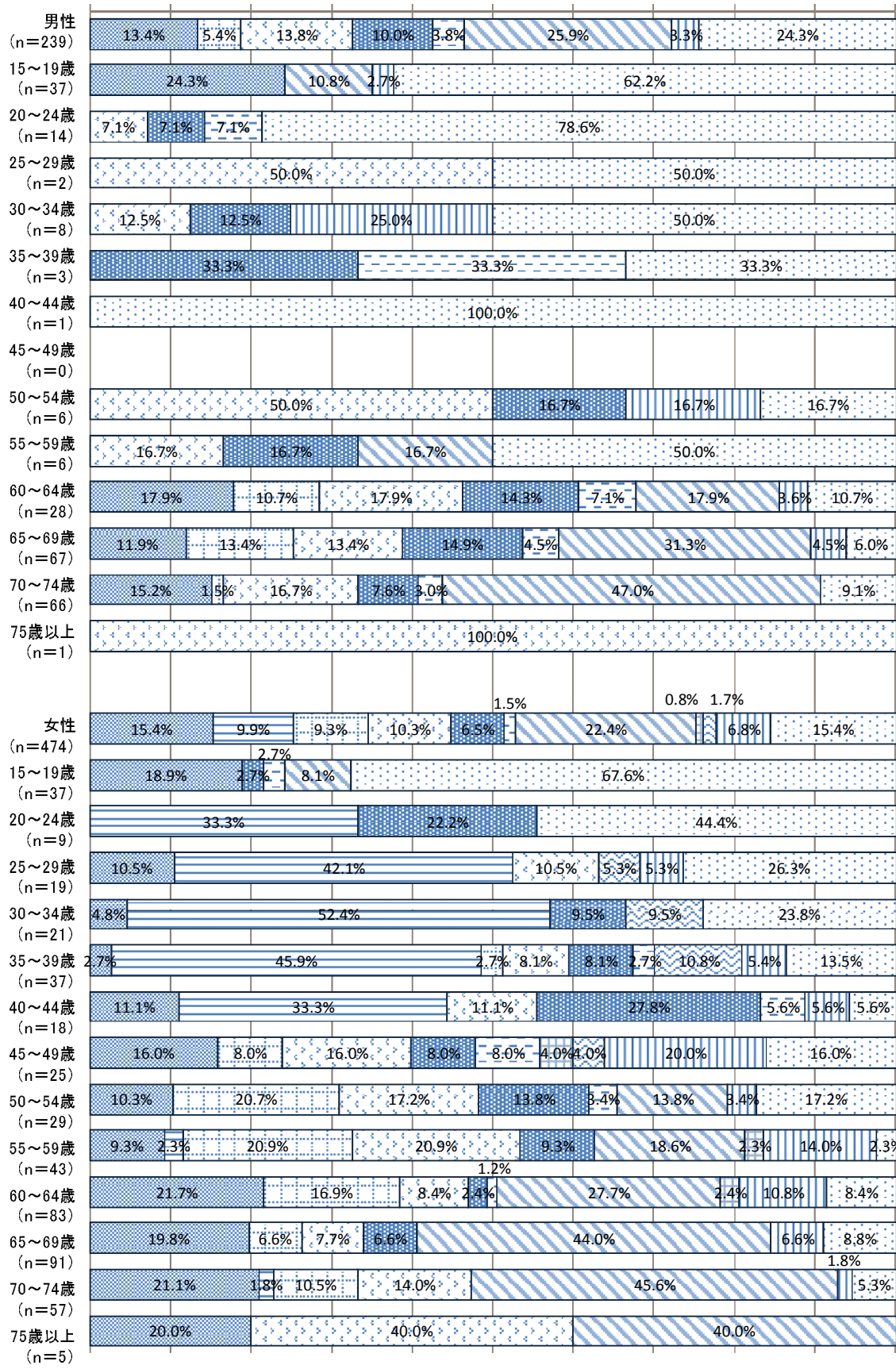
【回答数=717】



《性別・年代別》

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

性別・年代別



- 働く必要がない
- 病気で働けない
- 年齢的に就業が難しい
- 働く自信がない
- 育児で働けない
- 働きたいが仕事が見つからない
- 勤めていた企業が倒産・廃業
- その他
- 介護で働けない
- やりたい仕事がない
- 配偶者の転勤の影響

(2) 今後の就労意向

6-(2) 今後、何らかの形で働きたいですか。【1つに〇】

今後の就労意向については、「できれば働きたい」が37.2%と最も高く、次いで「働きたい」が27.3%、「働きたくない」が21.6%となった。

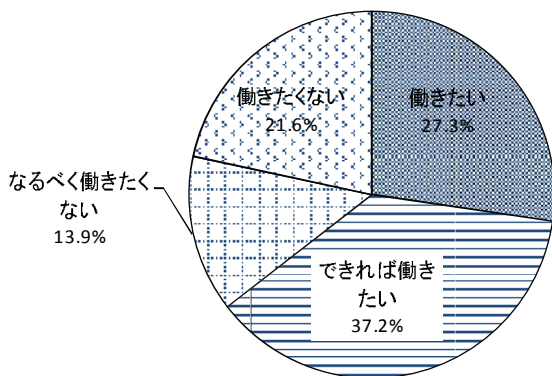
前回調査との比較では、「働きたい」「できれば働きたい」の合計が微減している。

性別でみると、＜男性＞では＜女性＞に比べ「働きたい」の割合が高い。

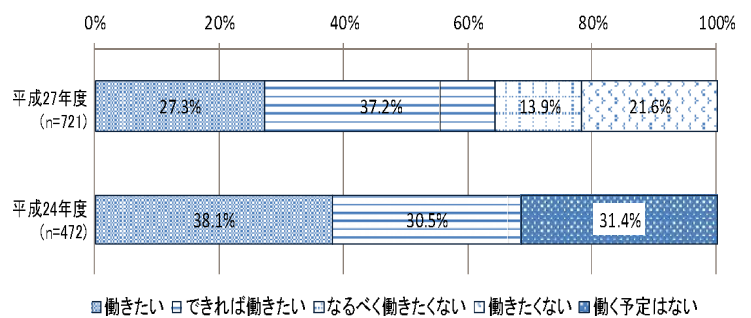
性別・年代別でみると、＜男性＞では60歳代及び＜70～74歳＞で「働きたい」「できれば働きたい」を合わせた割合が5割を超えているのに対し、＜女性＞の同年代では5割を下回っている。

■ 今後の就労意向

【回答数=721】



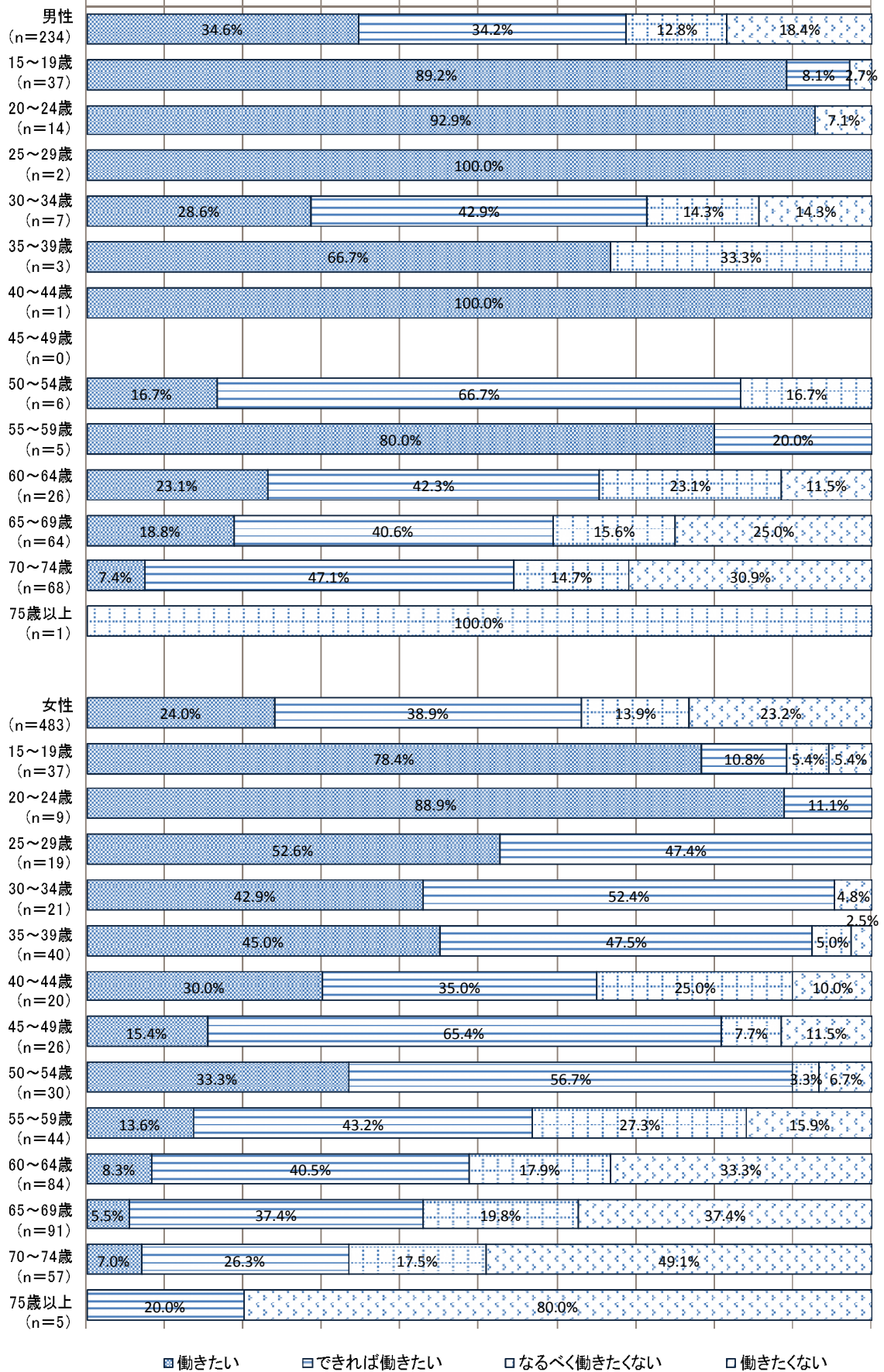
《前年調査との比較》



《性別・年代別》

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

性別・年代別



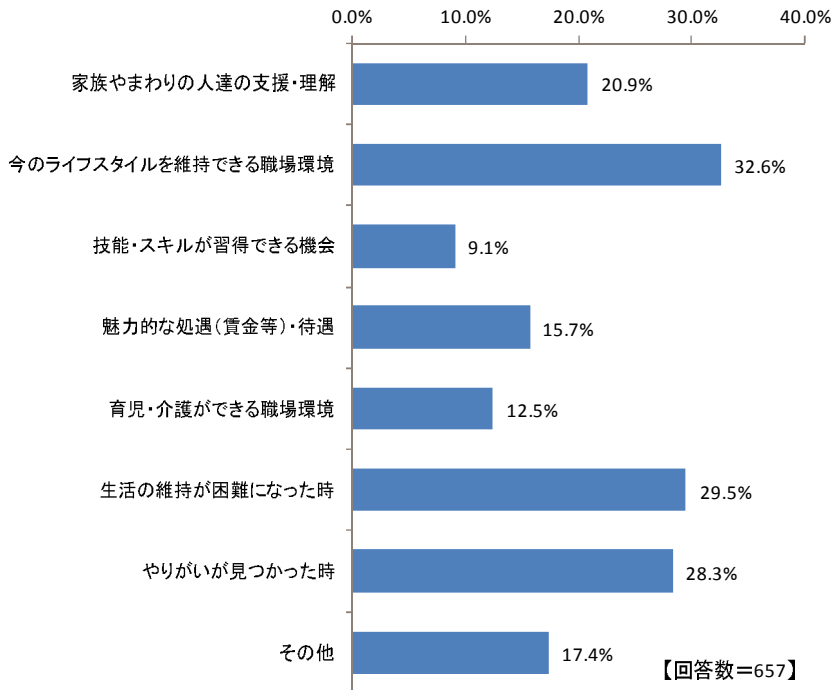
(3)働こうと思う状況

6-(3)どのような状況になれば働こうと思いますか。【いくつでも○】

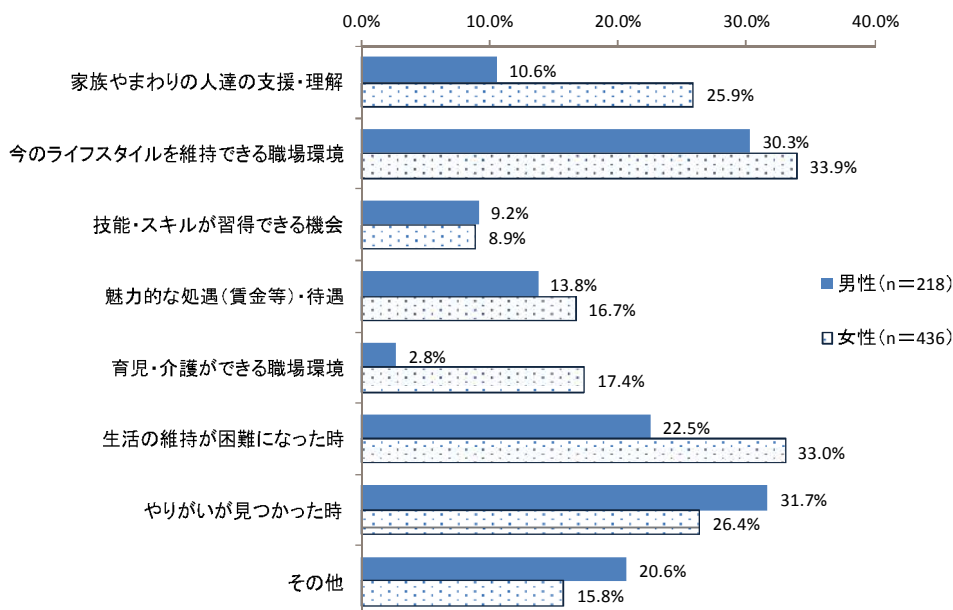
働こうと思う状況については、「今のライフスタイルを維持できる職場環境」が 32.6%と最も高く、次いで「生活の維持が困難になった時」が 29.5%、「やりがいが見つかった時」が 28.3%となった。

性別でみると、＜女性＞は＜男性＞に比べ「家族やまわりの人達の支援・理解」「育児・介護ができる職場環境」の割合が高い。

■働こうと思う状況



《性別》



(4) 希望する雇用形態

6-(4)これから働くとするば、どのような雇用形態で働きたいですか。【1つに〇】

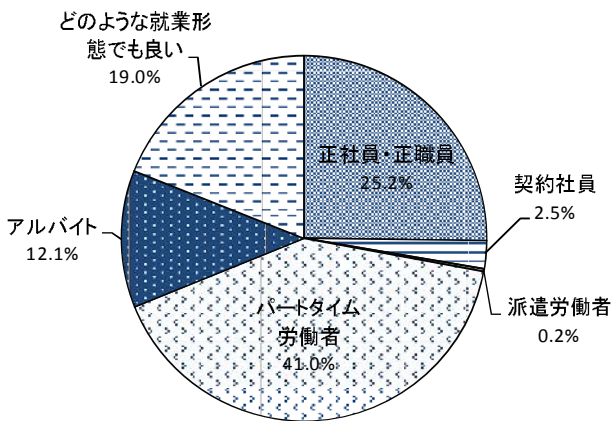
希望する雇用形態については、「パートタイム労働者」が41.0%と最も高く、次いで「正社員・正職員」が25.2%、「どのような就業形態でも良い」が19.0%となった。

前回調査との比較では、前回よりも「正社員・正職員」の割合が低くなり、「パートタイム労働者」「アルバイト」の割合が高くなっている。

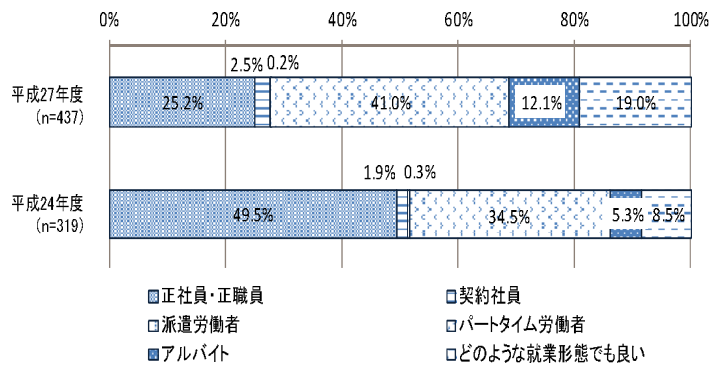
性別でみると、＜男性＞は＜女性＞に比べ「正社員・正職員」「アルバイト」の割合が高く、＜女性＞では「パートタイム労働者」が5割を超えている。

■希望する雇用形態

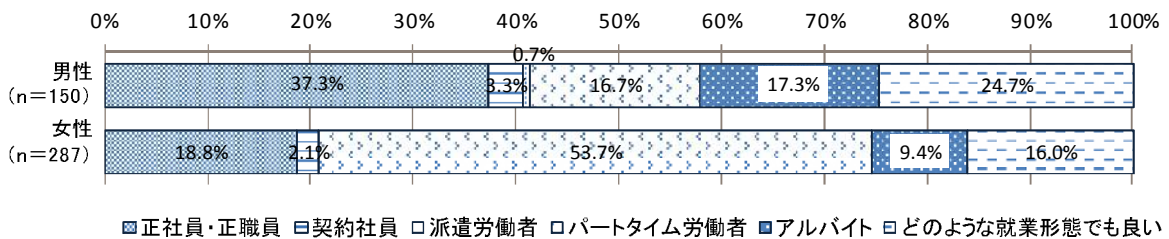
【回答数=437】



《前年調査との比較》



《性別》



(5) 就職先を探す上で重視すること

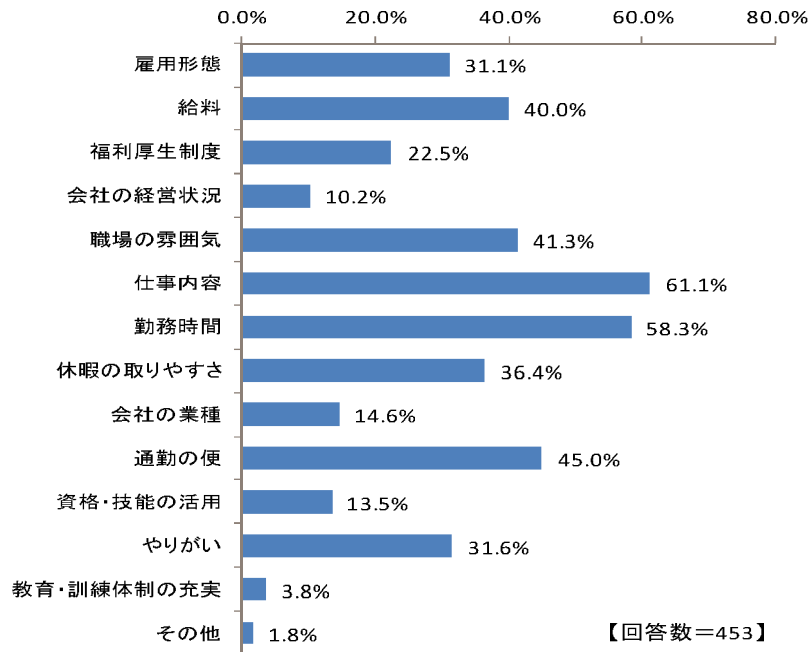
6-(5) 就職先を探すにあたって重視することは何ですか。【いくつでも○】

就職先を探すにあたって重視することについては、「仕事内容」が 61.1%と最も高く、次いで「勤務時間」が 58.3%、「通勤の便」が 45.0%となった。

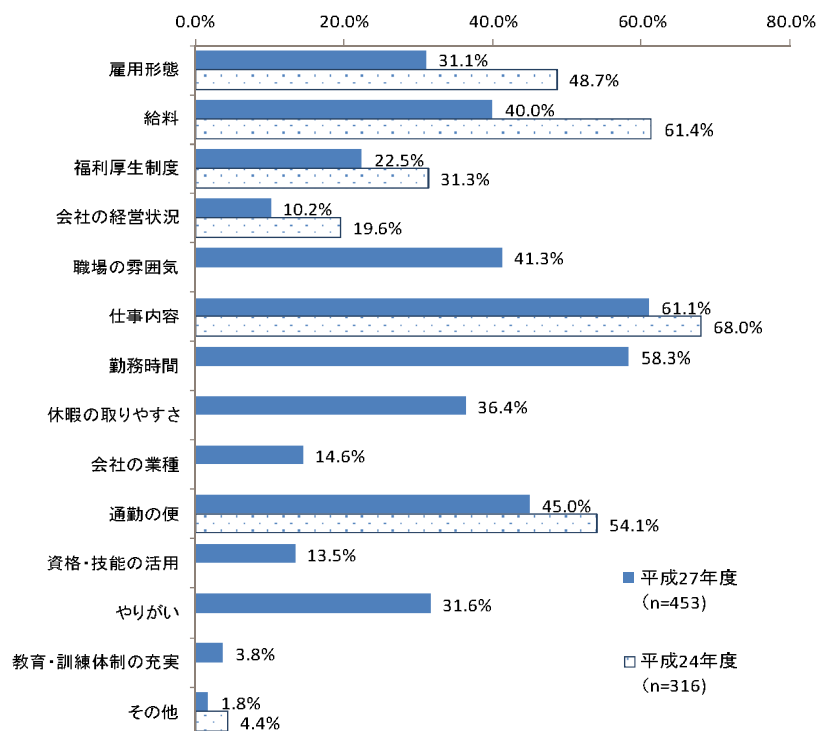
前回調査との比較では、「給料」「雇用形態」の割合が大きく低下している。今回は「勤務時間」「職場の雰囲気」「休暇の取りやすさ」「やりがい」が新たに高い割合を占めている。

性別でみると、＜女性＞では＜男性＞に比べ「勤務時間」「通勤の便」の割合が高くなっている。

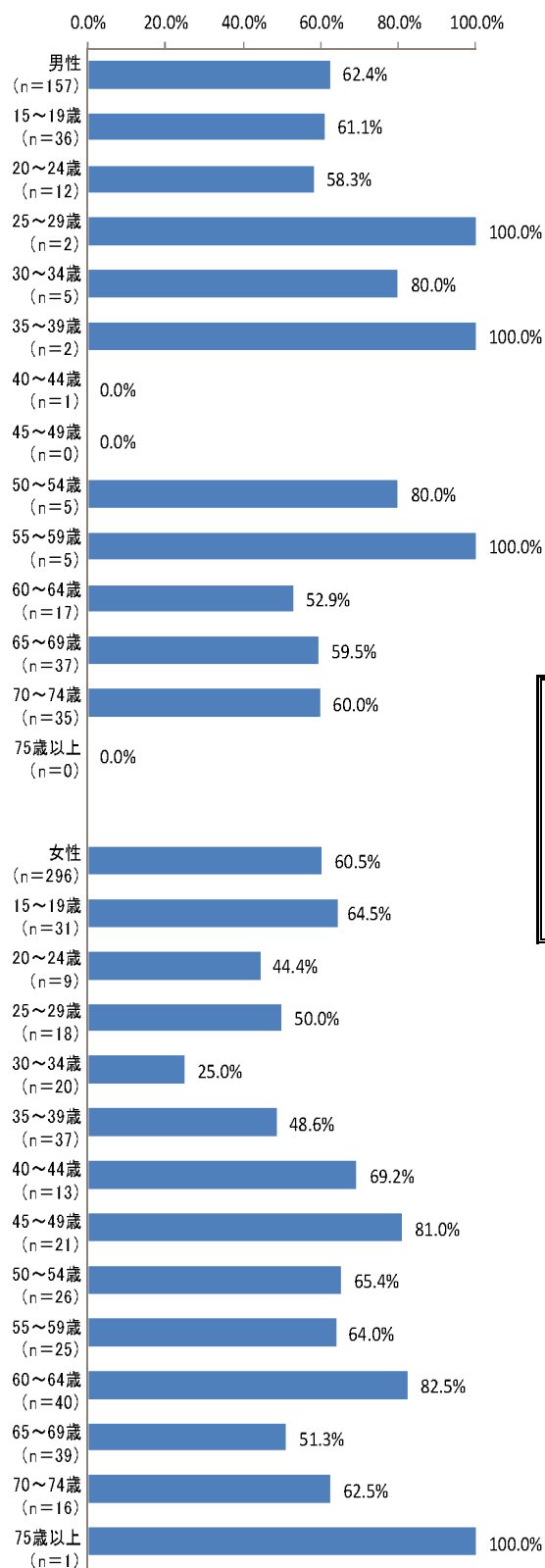
■ 就職先を探すにあたって重視すること



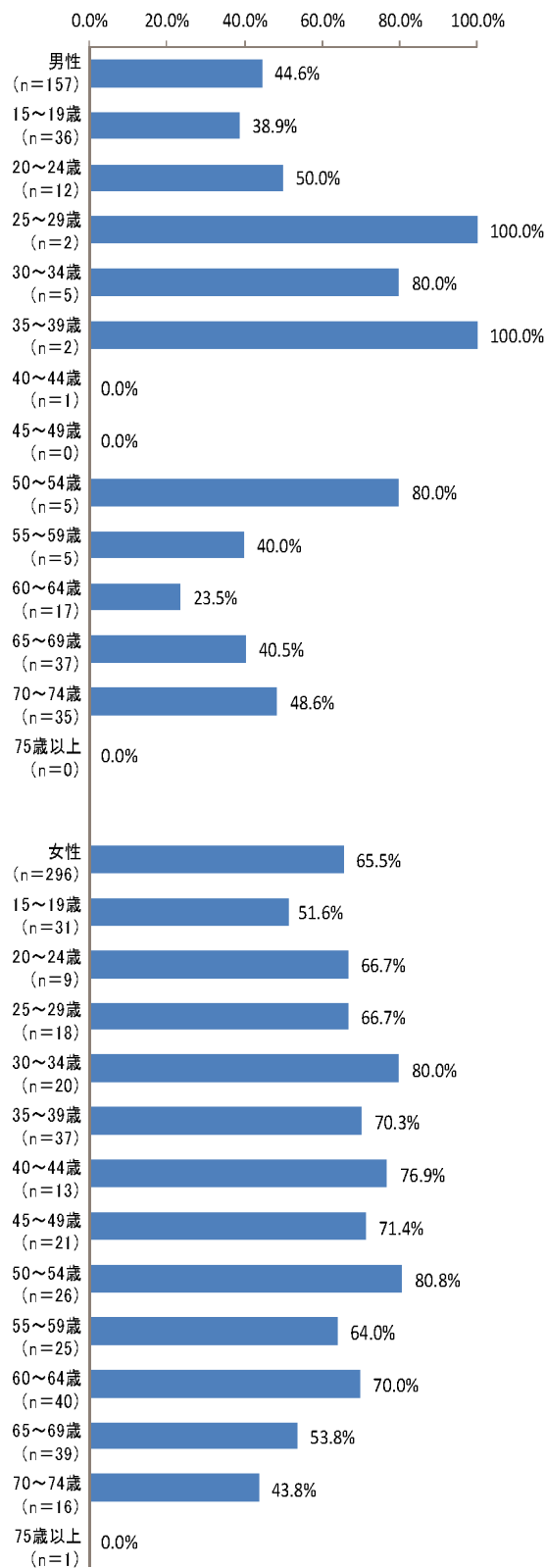
《前年調査との比較》



「仕事内容」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別≫

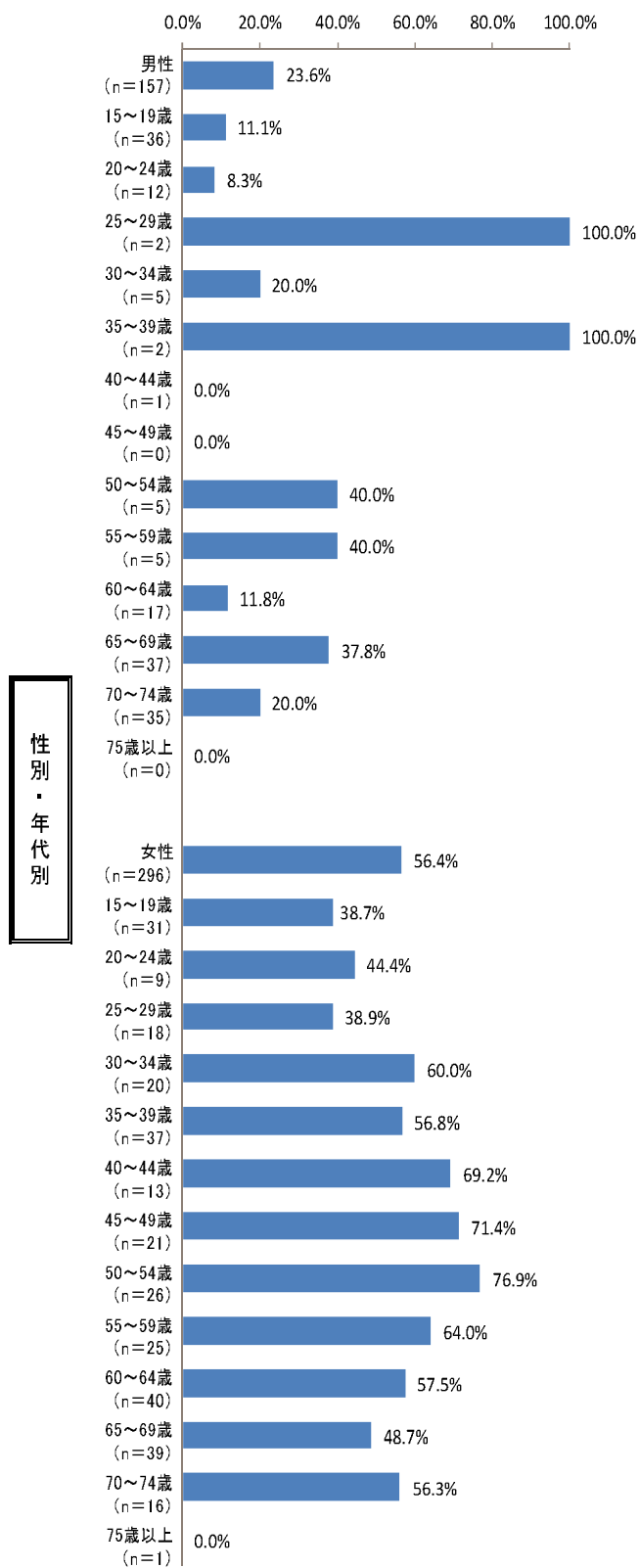


「勤務時間」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別≫



「通勤の便」と回答した人の割合

《性別・年代別》



(6) 希望の業務内容

6-(6)これから働くとすれば、どのような仕事がしたいですか。【1つに○】

希望の業務内容については、「現場・作業」が 25.4%と最も高く、次いで「営業・販売」が 18.5%、「総務・人事・法務」が 8.9%となった。

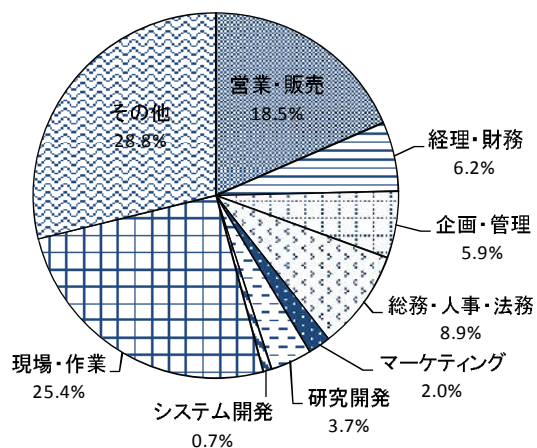
なお、「その他」が 28.8%を占めている。「その他」の内訳をみると、「医療・福祉に関する仕事」が最も多く、そのほかでは「教育・保育」「事務」「軽作業、単純作業」などが複数見受けられた。

性別でみると、＜男性＞は＜女性＞に比べ「現場・作業」の割合が高い。＜女性＞は「営業・販売」の割合が高く、次いで「現場・作業」が「営業・販売」と同程度の割合を占めている。

性別・年代別でみると、＜男性＞では 60 歳代と＜70～74 歳＞で「現場・作業」の割合が高くなっている。＜女性＞では 55 歳以上の年代で「現場・作業」の割合が高くなっている。

■希望の業務内容

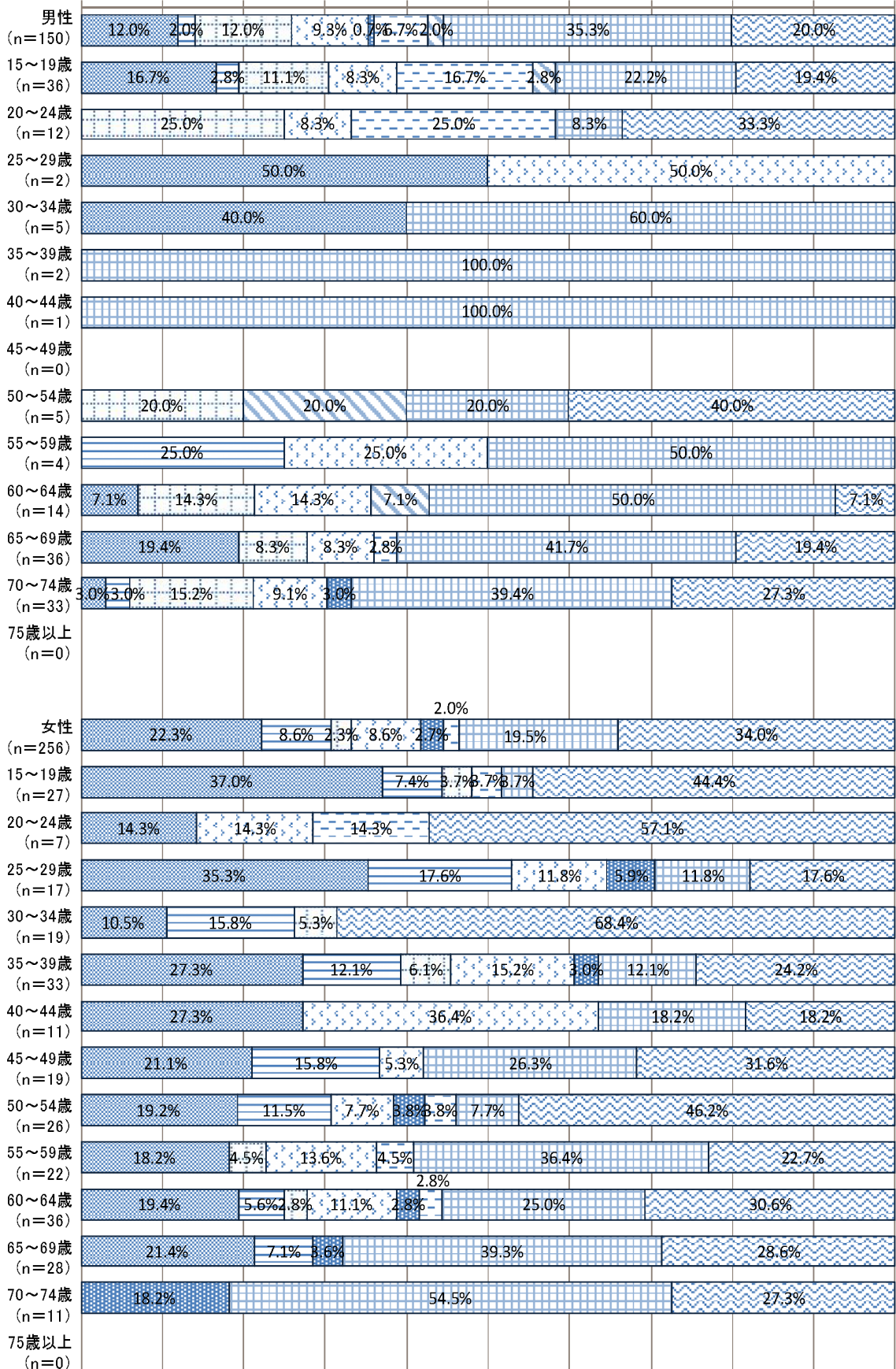
【回答数=406】



《性別・年代別》

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

性別・年代別



営業・販売
 経理・財務
 企画・管理
 総務・人事・法務
 マーケティング

研究開発
 システム開発
 現場・作業
 その他

(7) 求職の情報収集方法

6-(7)どのような場所や方法で仕事を探しますか。【いくつでも○】

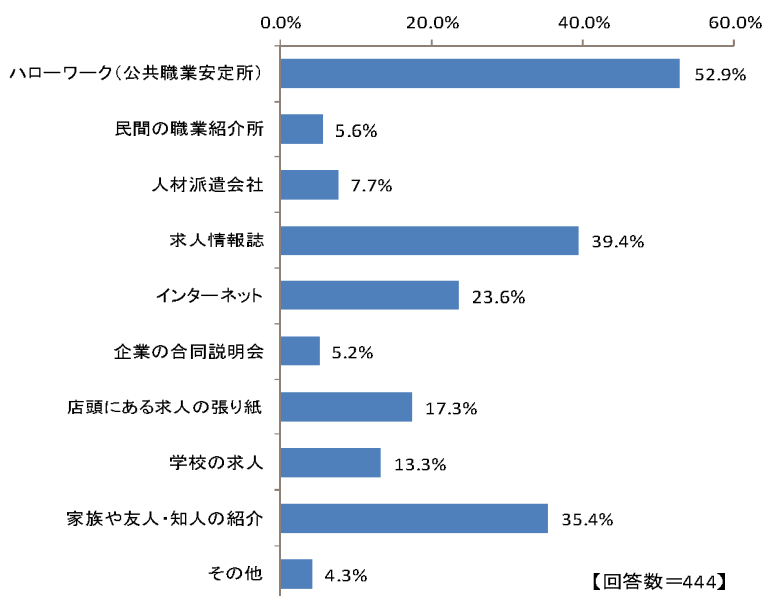
求職の情報収集方法については、「ハローワーク（公共職業安定所）」が52.9%と最も高く、次いで「求人情報誌」が39.4%、「家族や友人・知人の紹介」が35.4%となった。

前回調査との比較では、「家族や友人・知人の紹介」が前回より13.3ポイント増加し、「学校の求人」が同じく14.1ポイント減少している。

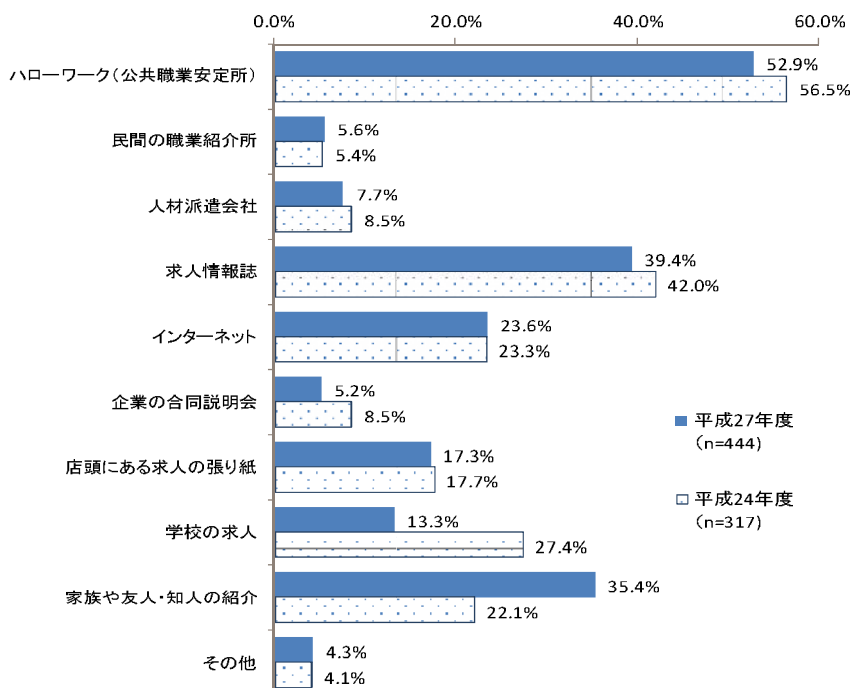
性別では、＜女性＞は「ハローワーク（公共職業安定所）」「求人情報誌」の割合が比較的高い。

性別・年代別でみると、＜女性＞の30歳以上から39歳未満で「ハローワーク（公共職業安定所）」の割合が高い。また、＜男性＞の65歳以上から75歳未満で「家族や友人・知人の紹介」の割合が高い。

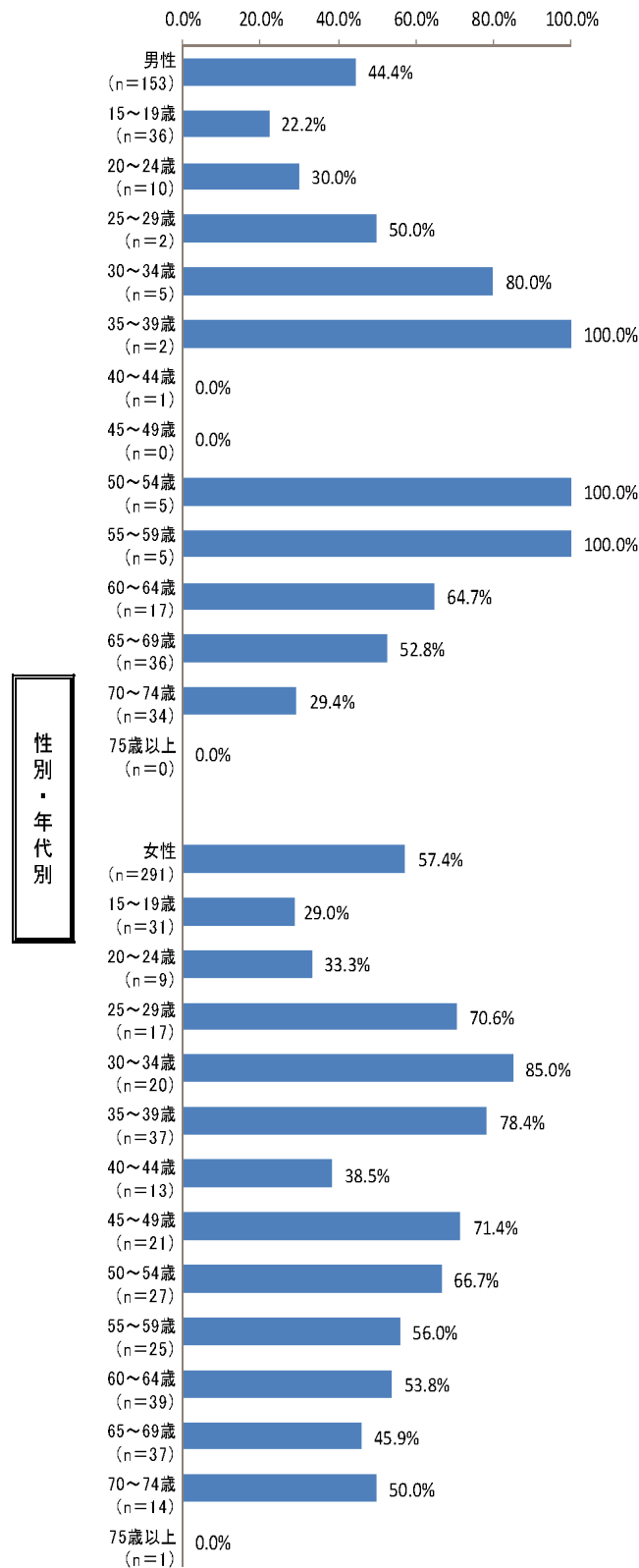
■求職の情報収集方法



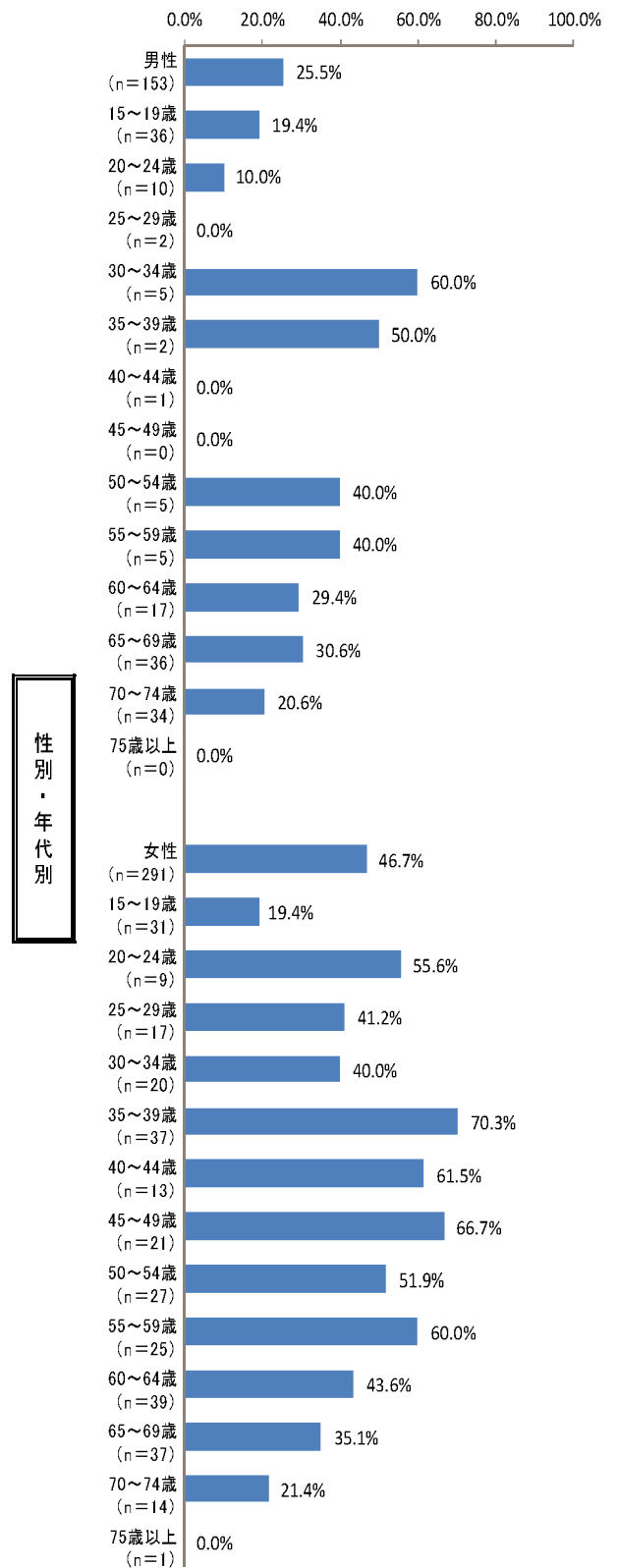
《前年調査との比較》



「ハローワーク(公共職業安定所)」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別≫



「求人情報誌」と回答した人の割合
 ≪性別・年代別≫



「家族や友人・知人の紹介」と回答した人の割合

《性別・年代別》

